

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2193300049		
法人名	社団法人 医療法人 古川病院		
事業所名	グループホーム 和		
所在地	岐阜県飛騨市古川町武之町11番17号		
自己評価作成日	平成28年1月29日	評価結果市町村受理日	平成28年3月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaiyokensaku.jp/21/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JizyosyoCd=2193300049-00&PrefCd=21&VersionCd=022
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと
所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル
訪問調査日	平成28年2月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設して2年となり、「その人らしい生活を…」という方針のもとに、より入居者様お一人お一人の想いや希望に添えるよう日々取り組んでいます。ご家族・知人の方々にも可能な限り来所いただき、日々の生活をみていただきながら、心身安定・安心して生活を送っていただけるよう、一緒に考えさせていただいております。隣接する医療法人古川病院の医療連携体制により、介護と医療の面でのサービスも充実しています。昨年は建物の横に畑を作り、入居者様と職員と一緒に野菜を育て、収穫後には簡単な調理をしたり、近隣散歩やなじみのお店などと一緒に出かけ、地域の方々とのつながりも継続して持てるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、宮川右岸に位置し、町の中心部に近く、山並みの景観も広がっている。利用者は、住み慣れた地域の中で、伝統行事を楽しみ懐かしい思いを抱きながら、その人らしく、和やかに、生き生きと暮らしている。母体法人の病院が隣接しており、医療と連携し、利用者が最期まで、穏やかな暮らしができるように、介護と医療の充実を図っている。職員は、幅広い年齢で構成され、互いの経験や知識を学び、協力し合い、利用者サービスの質の向上に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価票

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「地域の中でいきいきとした、その人らしい生活を…」をもとに、住み慣れた家と同じように自分らしく、できる限り希望に沿った生活が送っていただけるよう、日々入居者お1人お1人とコミュニケーションを図っている。	理念は、玄関や居間の見やすい位置に掲示をし、職員会議で理念の具現化を話し合い、共有をしている。職員は、利用者が、住み慣れた地域の中で、和やかで、生き生きと、その人らしい生活を過ごせるよう支援している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事に声をかけていただき参加させていただいたり、近隣の方々・知人の面会で交流していただいている。歌(近隣の方・学生等)や作品作り等のボランティアの方にも定期的に来ていただいている。	地域の祭りや、飛騨古川の伝統行事などへ出かけている。地元の学生やボランティアが、芸能や作品づくりで、訪れている。地域の中で存在感がある病院が経営しているホームということで、近所の人入り易く、気楽に訪れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行政・地域の代表者・家族の方々に、運営推進会議の場や来所された際に、入居者様の様子や認知症の方の症状をお話し、ご理解やご協力をお願いをしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催。入居者の日常生活の様子やサービス内容等を報告し、出席者の方々より助言等をいただき、入居者の日常生活へ反映させていただいている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に出席いただいた際に報告・相談させていただいたり、日頃より市役所担当者にご相談・ご協力いただいている。	市の担当者へは、運営の実情を報告し、協力関係を築いている。事業者連絡会や協議会では、情報を交換し、サービスの向上に活かしている。事故対策や成年後見、介護保険制度などで助言を得ている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ユニット会議の際や業務の中で、身体拘束をしないケアに関して職員研修や意見交換を行い、常に理解・認識をする場を持っている。外出希望される方には職員又は家族が付き添いを行い、出来る限りの対応をしている。	職員は、身体拘束をしないケアの意義を、常に認識して取り組んでいる。事故防止の一環として、玄関やベッドには、利用者に違和感のないセンサーで感知をし、心理的にも拘束をしないよう、周知を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	開所前に高齢者虐待防止関連について職員研修で学び、事業所内で継続して虐待防止を行っている。		

岐阜県 グループホーム和

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度は現在入居されている方が利用されている。制度について日常業務で学びながら、家族や関係者の方へ必要に応じて対応させていただいている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居・退居・制度改定の際、管理者・介護支援専門員が説明し、随時本人・家族の不安・疑問点をお聞きし、ご理解・納得していただいた上でサービスさせていただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来所された際やお電話での問い合わせの時に要望等お聞きし、申し送り及びユニット会議にて職員への周知を行っている。運営推進会議でも報告させていただいている。	家族の来訪時や電話で意見や要望を聴いている。病院が近くて安心との声や、暮らしの様子をもっと知りたい、などの意見がある。本人・家族には、穏やかに接し、信頼関係を深めるように努めている。	家族の意見や要望が出やすい工夫と、本人の暮らしの様子が家族に伝わるような取組に期待したい。また、来訪時の応対で、さらに好ましい関係を築くことが望ましい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常日頃より、風通しの良い職場を目指しており、管理者・ユニットリーダー・職員間でユニット会議や通常業務の合間の際に話がしやすい環境となっている。尚、必要に応じて個別に面談する機会を設けている。	管理者は、職員から意見が出やすい環境を築いている。利用者のADL改善や職員の休憩時間の取り方、服薬管理、緊急時対応、イベント企画など、多様な意見を話し合い、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	週2回の定期訪問時や管理者からの報告により、職員の勤務状況・職場環境を常に把握している。処遇改善・各資格手当や休暇取得など、就業環境は整えている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症・感染症等の社外研修参加や社内での勉強会の機会を作り、職員の知識取得や資格のスキルアップをバックアップしている。また病院のPT・OTにより、筋力維持の運動や生活リハビリによる認知症の進行遅延の指導も実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社外研修参加で同業者と交流する機会を得たり、同法人内の看護師・PT・OTの協力・助言により、サービスの質の向上を図っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面談等でアセスメントを行い、本人・家族の想いを傾聴し記録。個人記録ファイルに綴り、いつでも閲覧・記入ができるようにし、入居後には少しずつ信頼関係が築けるようコミュニケーションを図っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	申込み時・面談時・契約時など、そのつど家族の要望・些細な疑問などを細かに伺い、不安材料が少しでも解消していただけるよう、できる限りの対応を心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族がどのような生活を望んでいらっしゃるかを伺い、サービス内容の検討・実施をしている。隣接する古川病院の医療連携で、介護と医療の面でサービスの調整も行えている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事準備・掃除・洗濯たたみ等、生活全般をできる限り一緒に行っている。一緒にお茶の時間を過ごしたり、テレビ観賞や体操に取り組んだりと業務に追われる事無く、同じ時間を同じようにして過ごしたいという考えで関わっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	普段の様子やそこから汲み取った本人の思い等を来所時や電話でこまめに伝えるように心掛けている。安心してホームでの生活が送っていただけるよう、家族と一緒に考えていただいている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの美容院・歯科医院・お寺・お店など、こちらでの送迎が可能な方に限られてはいるが、継続して通っていただいている。家族同伴で外出・外泊された際にも、顔なじみの方との面会やなじみのお店へ行かされている。	家族、または、職員と共に、行きつけの理・美容院や歯科医院、寺社、買い物、外食などへ出かけている。個別には、畑の見回りや帰宅などに対応し、馴染みの関係を支援している。親戚や知人には、再来を促している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の交流関係を把握し、良好な関係が築けるように、席の配置や一緒に作業をしていただく際に配慮している。難聴の方や交流が苦手な方には必要時に職員が間に入り、関わり合いが持てる場を作っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されるまで本人・家族と密に面談等行い、退居後も安心して生活が送っていただけるよう、一緒に考えさせていただいている。退居後もこちらでの生活の様子や必要な情報提供をし、できる限りの支援をさせていただいている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前の生活歴・環境の調査と本人・家族への聞き取りにより、入居される際になるべくご希望が叶えられるよう配慮している。開所して約2年、日々個別にコミュニケーションを取りながら、希望される事・不満な事等、話しやすい環境を作るよう心掛けている。	利用者と信頼関係を築き、思いや意向を把握している。聾啞の人には、手ぶり、身振りの非言語で疎通を図っている。個々の習慣や思いを見極め、その人らしい暮らしが叶えられるよう、配慮をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の聞き取り調査や情報と併せて、本人・家族から直接聞くことで理解を深めるよう努めている。日々の生活の中で、各職員が知り得た情報を申し送りや記録で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活リズムの把握と状態観察を行いながら、表情や声のトーンである程度の状態を把握している。食事摂取・排泄状況も職員間で情報共有しながら、現状把握に努めている。自己にてできる事の継続の支援もつど行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の思い・希望等をまず伺い、家庭と同じように安心して生活がしていただけるような日常生活全般のサービスを考慮し、介護サービス計画書の作成を心掛けている。家族・知人等や主治医・看護師・介護職等の意見も反映した計画書を作成している。	介護計画は、サービス担当者会議で、本人・家族や関係者の意向、助言を踏まえている。モニタリングは、定期的に行い、心身を安定させ、生活習慣を支え、その人らしい生活が送れるように作成をしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づいたことは記録・申し送りノートに具体的に記入し、文章だけでなく口頭でもさらに詳しく伝え、情報の共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診の付き添い・日用品の買い物・外出希望等、こちらでお受けできることはできる限り対応させていただいている。難しい時には家族へ連絡し、日程の調整等をお願いしている。		

岐阜県 グループホーム和

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	他入居者・職員との交流や家族・知人等の定期の面会・近隣散歩による馴染みの方々と の触れ合いにより、心身共に安心・安全に毎日の生活を送っていただけるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	古川病院院長より週に1回、定期訪問診療を受けている。必要時・希望時には古川病院外来に受診され、適切な診療を受けられている。入居前より受診されている歯科・精神科には職員又は家族付き添いで継続受診されている。訪問歯科の利用もしている。	入居後は、同法人の医師による訪問診療を受け、訪問歯科も利用している。他の専門科への受診は、家族が付き添いを継続している。法人の病院が24時間の連絡体制で、安心な医療を支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の定期訪問診療時及び必要に応じて、身体状況の報告を行い、適切な指示・処置を受けている。看護師より、主治医への報告も密にされている。状態変化時には主治医指示のもと、病院の外来受診も随時行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院された際、身体状況・ADL・服薬情報等の基本情報や必要書類が提出できるよう、準備をしている。尚、入院生活が安心して円滑にできるよう、ホームでの様子も細かに連絡し、入院中も密に連絡を取り合っている。定期的に病状把握も行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居希望された際に、重度化・終末期に関しての方針を説明させていただき、同意をいただいている。重度化・終末期になられた方がこちらでどのように生活していただくかは、今後の課題であり検討中である。	入居時に、重度化や終末期の方針を、本人・家族に説明し、同意を得ている。利用者の状態の変化に伴い、家族と関係者で話し合い、方針を共有している。回復の見込みのない場合は、法人医院と連携し、看取りの体制を整えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	簡単な応急処置・バイタル測定は全職員が知識・実践を身に付けている。職員の目につくところに貼り付けし、早急な処置・対応ができるようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練の実施を行い、とっさの判断と行動及び安全な避難ができるようにしている。	災害訓練は、通報や避難を重点に実施し、残りの1回は、年度末に計画をしている。法人の病院を避難場所に定め、必要な非常用品を確保している。地域との協力関係を築き、消防署も近場にある。	防災マニュアルを整え、地震や夜間を想定した自主訓練と連絡網を整備し、緊急時、速やかに行動が取れるよう職員訓練に期待をしたい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常生活の関わりの中で性格・生活歴等を把握し、毎日が穏やかに過ごしていただけるような対応を心掛けている。時には方言を用いコミュニケーションを図っているが、慣れ合いにならないよう意識し、尊厳を損ねる事の無いように各職員が努めている。	日常生活が、穏やかに過ごせるように対応し、人格の尊重に努めている。言葉かけは、目線を合わせ、相手の話しに耳を傾けている。慣れ合いで、誇りを損ねることがないように意識付けを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	周りの環境に配慮し、話しやすく返答しやすい質問で、自己決定がしやすいよう配慮している。職員だけでなく入居者同士また家族との関わりを含め、日常生活の全体的に目を配ることで、思いを汲み取れるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できる限り希望に添えるようにしているが、外出・散歩へ行けない時には、玄関ポーチや畑等の敷地内に出たり、室内でレクリエーションやお茶をして過ごしてもらっている。お一人お一人のペースで過ごしていただくよう、無理強いはいしないよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時・入浴後に洗顔・整髪・髭剃りなどの身だしなみに気を使われている。衣服の選択もできる方は行い、肌の手入れをされている方もいる。散髪はご家族が付き添い又は訪問サービス利用で、パーマ・毛染めをされる方もいる。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事はメインを母体法人より調達し、副菜・味噌汁等を手作りしている。畑で採れた野菜や家族・近所の方にいただいた野菜を使い、新鮮な食事作りを心掛けている。盛り付け・配膳・下膳・片付けは、できる限り一緒に行っている。	食事は、副食の一部を作り、主なものは、母体より仕入れている。職員も同じ食事を一緒に摂り、楽しい雰囲気の中で、美味しさを味わっている。利用者は、配膳や下膳、片づけなどを手伝っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・食事形態(普通食・刻み食)を把握し提供。お茶等の水分を好まれない方は食事時の汁物の量を多めにしたり、必要時にはお粥・おにぎりを提供している。毎食時・10時・15時・必要時に水分補給を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	夕食後に義歯洗浄・口腔ケアを行う。ご自分から口腔ケアをされない方には声をかけ行っている。食物残渣・服薬が口腔内にならないよう確認している。義歯の具合等にも目を配り、不具合がみられる時は歯科受診もされている。		

岐阜県 グループホーム和

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居後、おむつ→布パンツ・パットあり→なしになられた方がみえ、現在も継続されている。紙パンツ・パットを使用されている方は定期的にトイレ誘導をし、習慣になることを目指し、トイレでの排泄を行っている。尿量や排泄パターンに合わせて、適宜対応している。	個々の状態に合った排泄用品を選択し、また、改善した人は、自立の維持と習慣化に努めている。夜間は、滑り止めシートで転倒防止を施し、ポータブル、または、トイレで排泄ができるように支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分調節や軽体操・身体を動かすレクリエーションを行っている。便通が良い食べ物(ヨーグルト等)や飲み物(牛乳等)の提供と家族からの差し入れ・野菜を多めに摂取していただいている。主治医から内服薬の処方もしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴曜日・順番・開始時間等の希望を聞き、そのつど調整している。その日の体調(健康状態・排泄状態)や予定に合わせて、午後入浴や曜日の変更も行っている。浴室・脱衣室とも清潔と温度調整を心掛け、常に環境整備も行っている。	入浴は、個々の希望に応じ、重度者用のユニットバスがある。嫌がる人には、話題を変えながら自然と入浴につながるよう工夫をしている。脱衣室は、清潔を保ち、心地よく入浴ができるように支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床・就寝時間はお1人お1人の生活パターンを崩さず、自己のペースで行ってみえる。休息はそれぞれ適宜行っている。居室内の温度・照明・ベッド等、季節や体調に合わせ、都度確認しながら調整をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は職員であるが、服用される際に必ず本人と確認を行う。服薬内容や副作用等、記載ある処方箋をファイリングし、すぐに閲覧できるところに保管している。何かあった時には、古川病院薬剤師に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎朝の掃除・台拭き・毎食後の片付け自分の仕事として行っている方がみえる。立ち仕事に困難な方には、座った状態でできる洗濯たたみや野菜の皮むき等を行ってもらい、日常生活でのやりがいにつながるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	馴染みの美容院へはお店の方の協力を得て、送迎をお願いしている。近隣散歩や喫茶店など外出には可能な限り出かけていただき、なじみの店での買い物も車で出掛け、気分転換を図っている。	ホーム前の川岸を、日々散歩をしている。祭り広場や屋台、日用品の買い物などへ出かけ、家族とは、外食や遠方のデパート、築場などヘドライブを兼ねて外出している。近くの喫茶店には、希望者同士で出かけている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	居室に現金をお持ちの方は、家族に了解いただいている。こちらで預かってほしいと希望される方については、事務所内(鍵付き書庫)で預かっている。外出し買い物をする場合は、ご自分でお支払いできるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人名義の携帯電話を持っている方は、ご自由に電話をかけている。また希望時、NTT電話を使用できるようにしている。難聴の方には職員が代理で電話をかけ伝言を伝えている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内の照明・温度は常に確認しながら、過ごしやすい環境に配慮している。特にトイレには目を配り清潔を保っている。夜間の廊下も眩しすぎないように照明を調節し、夏場の西日の暑さには遮光物で対応し快適な空間に整えた。生活導線には物を置かず、移動しやすく転倒されないよう環境整備している。	天井の梁は、極太の木材で、和の趣がある。共用の間には、季節感のある、はり絵や観葉植物を置き、対面式の台所には生活感がある。カウンターテーブルには、ぬいぐるみと書物ケースに本を並べ、居心地のよい、家庭的な環境づくりを工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれお好きな席に座られ、なじみの方々とお好きな時に交流を持たれている。お1人になりたい時には、居室で過ごされたり、ソファに座って休まれたりされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	日用品は家で使用されていたものをそのまま持って入居されているため、使い慣れた物を使用されている。アルバムや写真を飾られたり、読書や編み物ができるように持参されている。ラジオを聴いたり、趣味の盆栽も持参され手入れ等されている。	居室のベッドと整理ダンスは、備え付けである。馴染みの物は、自由に持ち込み、好みに配置をしている。鏡台や化粧品も本人の使い慣れたものがある。盆栽や生け花などを飾り、安心して暮らせる居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ほとんどの方が居室・トイレ・浴室等の場所の把握をされている。立ち上がりや移動が安全にできるよう、ベッドに柵を取り付けられたり、建物内には手すりの設置・段差の解消・照明等、安全に生活ができる環境となっている。		